

令和元年度 国民体育大会委員会 委員名簿

資料 No.15

2019.6.13 現在

No	役職名	氏 名	本会役職等	所属団体等	検討小委員会
1	委員長	大野 敬三	理 事	千葉県体育協会	○
2	副委員長	菊 幸一	学識経験者	筑波大学	○
3	副委員長	鈴木 浩二	学識経験者	日本水泳連盟	○
4	委 員	飯坂 尚登	学識経験者	秋田県・秋田県体育協会	○
5	委 員	今井 純子	理 事	日本サッカー協会	
6	委 員	池田 めぐみ	学識経験者	山形県体育協会	
7	委 員	川原 貴	学識経験者	スポーツ医・科学専門委員会委員長	○
8	委 員	坂井 利郎	評 議 員	日本テニス協会	○
9	委 員	三戸 一嘉	評 議 員	埼玉県体育協会	○
10	委 員	柴田 益孝	評 議 員	岐阜県体育協会	○
11	委 員	菅原 哲朗	学識経験者	弁護士	○
12	委 員	高橋 有紀子	学識経験者	日本バレーボール協会	
13	委 員	友永 義治	評 議 員	日本陸上競技連盟	○
14	委 員	松田 基子	学識経験者	大阪体育大学	
15	委 員	松永 敬子	学識経験者	龍谷大学	○
16	委 員	松丸 喜一郎	学識経験者	日本オリンピック委員会 日本ライフル射撃協会	
17	委 員	山本 浩	学識経験者	法政大学	○
18	委 員	横田 匡俊	学識経験者	日本体育大学	○
19	委 員	加藤 俊文	学識経験者	全国都道府県体育・スポーツ・保健・給食主幹課長協議会 千葉県	
20	委 員	石田 奈緒子	開 催 県	茨城県国体・障害者スポーツ大会局	
21	委 員	根本 聡	開 催 県	茨城県体育協会	
22	委 員	谷地村 克久	開 催 県	青森県教育庁スポーツ健康課	
23	委 員	米山 隆	開 催 県	富山県総合政策局スポーツ振興課	
24	委 員	中堂 哲郎	開 催 県	鹿児島県国体・全国障害者スポーツ大会局	
25	委 員	坂口 純弘	開 催 県	鹿児島県体育協会	
26	委 員	桑山 幸久	開 催 県	愛知県スポーツ局スポーツ課	
27	委 員	市岡 美咲	開 催 県	岐阜県清流の国推進部地域スポーツ課	
28	委 員	齊藤 譲	開 催 県	秋田県体育協会	
29	委 員	辻 日出夫	開 催 県	三重県国体・全国障害者スポーツ大会局	
30	委 員	東地 隆司	開 催 県	三重県体育協会	
31	委 員	小祝 章二	開 催 県	栃木県体育協会	
32	オブザーバー	川田 耕二		スポーツ庁競技スポーツ課	○

第 74 回国民体育大会の冠称について

冠称：「天皇陛下御即位記念」

当協会として、毎年国民体育大会をはじめ、各種主催事業に天皇陛下をはじめ皇室の方々の御臨席を賜っていることから、本年 4 月 24 日に開催した当協会理事会において、本年 9 月から 10 月に茨城県において開催する「第 74 回国民体育大会」を慶祝行事と位置付け、「御即位を記念する冠称」を付与することを決定した。

過去の冠称

- 東日本大震災復興支援・・・第 66 回大会（山口県）～第 70 回大会（和歌山県）
- 東日本大震災復興の架け橋・・・第 71 回大会（岩手県）
- 明治 150 年記念・・・第 73 回大会（福井県）
- 天皇陛下御在位 30 年記念・・・第 74 回冬季大会（北海道）

第74回国民体育大会(茨城県)実施競技における トップアスリート特例対象選手一覧

令和元年6月13日現在

No.	競技名	対象区分				第74回大会 対象者数	開催基準要項 参加人員(参考)	第73回大会 対象者数
		①	②	③	④			
1	陸上競技	○	○	○	○	271名	1,457名以内	254名
2	水泳	○		○	○	219名	1,725名以内	207名
3	サッカー	【対象者なし】				—	920名	【対象者なし】
4	テニス	○	○	○	○	44名	410名	38名
5	ボート	○	○		○	13名	896名	17名
6	ホッケー	【対象者なし】				—	560名	62名
7	ボクシング	【対象者なし】				—	343名	【対象者なし】
8	バレーボール		○	○	○	48名	1,040名	84名
9	体操				○	31名	654名	30名
10	バスケットボール				○	26名	1,032名	41名
11	レスリング	【対象者なし】				—	752名	【対象者なし】
12	セーリング	○	○		○	28名	703名以内	37名
13	ウエイトリフティング	○	○		○	30名	383名	22名
14	ハンドボール	【対象者なし】				—	910名	【対象者なし】
15	自転車				○	37名	611名	42名
16	ソフトテニス				○	34名	648名	【対象者なし】
17	卓球	○	○	○	○	20名	460名	34名
18	軟式野球	【対象者なし】				—	512名	【対象者なし】
19	相撲	【対象者なし】				—	470名	【対象者なし】
20	馬術	【対象者なし】				—	339名	【対象者なし】
21	フェンシング	○	○	○	○	48名	339名	62名
22	柔道				○	120名	526名	120名
23	ソフトボール		○			30名	715名	25名
24	バドミントン				○	54名	444名	58名
25	弓道	【対象者なし】				—	314名	【対象者なし】
26	ライフル射撃	○	○			39名	428名	42名
27	剣道	【対象者なし】				—	475名	【対象者なし】
28	ラグビーフットボール	【対象者なし】				—	646名	【対象者なし】
29	スポーツクライミング				○	43名	309名	44名
30	カヌー				○	62名	453名	76名
31	アーチェリー	○	○		○	16名	280名	16名
32	空手道		○		○	62名	414名以内	53名
33	クレール射撃		○		○	11名	237名	12名
34	なぎなた	【対象者なし】				—	314名	【対象者なし】
35	ボウリング				○	20名	401名	22名
36	ゴルフ			○	○	20名	441名	20名
37	トライアスロン				○	12名	282名	14名
		対象者総計				1,338名	21,843名	1,432名

対象区分:①リオデジャネイロオリンピック競技大会参加者、②JOCオリンピック強化指定選手
③国内ランキング上位者、④中央競技団体強化指定選手

トップアスリートの国民体育大会参加資格の特例措置

我が国の競技力向上を支援する観点より、一定の競技力を有する選手に対して、「トップアスリートの国民体育大会参加資格の特例措置（以下「本特例」という。）」を下記のとおり定める。

1. 特例の対象となる選手

本特例の対象となる選手は、下記の条件のいずれかを満たす者とする。

- 1) 大会開催の直前に開催されたオリンピック競技大会（冬季競技はオリンピック冬季競技大会）に参加した者。
- 2) 大会開催年の4月30日（冬季大会は前年10月31日）時点で、下記のいずれかに該当し、各中央競技団体が本特例の対象として認めた者。
 - (1) JOC オリンピック強化指定選手
 - (2) 各競技（種目）における国内ランキング上位10位以内の者
 - (3) 中央競技団体が定めた強化指定選手

※ 強化指定ランクについては、各競技における全日本選手権大会入賞レベル以上のカテゴリーを対象とする。

2. 特例の内容

1) 予選会の免除

本特例の対象となる選手については、都道府県予選会及びブロック大会を経ずに国民体育大会本大会に参加することができるものとする。ただし、ブロック大会実施競技種目・種別においては、当該都道府県代表選手又はチームがブロック大会に参加し、本大会参加枠を獲得している場合とする。

2) 資格要件（日数要件の緩和）

本特例の対象となる選手が所属都道府県として「居住地を示す現住所」又は「勤務地」を選択する場合は、日数に関する要件を定めないこととし、以下のとおりとする。

(1) 居住地を示す現住所

次の要件をいずれも満たすものとする。

- ① 当該大会開催年の4月30日以前（冬季大会はこの前年同日）から大会終了時まで引き続き、住民票記載の住所に存する都道府県において生活している実態があり、当該都道府県以外（海外を含む）において生活している実態がないこと。

なお、生活の実態については、下記要件により判断する。

1. 自ら所有する住居、又は自らの名義で住居を賃借していること
2. 当該住居に生計を一にする家族と共に住んでいること
3. 当該住居の水道光熱費など費用を自ら負担していること
4. 当該住居に主要な家財道具が存すること

- ② 合宿、試合等により当該都道府県外で活動を行う場合、当該都道府県を移動の起点としていること。

(2) 勤務地

次の要件をいずれも満たすものとする。

- ① 当該大会開催年の4月30日以前（冬季大会はこの前年同日）から大会終了時まで引き続き、雇用主と雇用契約を締結した上で、当該都道府県内に存する雇用主の会社や事業所等に現実に通勤し、勤務していること。
- ② 当該都道府県内で、競技普及活動等の事業に参加すること。

3. 国内移動選手の制限

本特例の対象となる選手の国内移動選手の制限については、国民体育大会開催基準要項細則第3項-(1)-1)-③の通りとする。

4. 特例の適用に係る手続き

- 1) 正式競技実施中央競技団体は、当該大会開催年の4月30日（冬季大会は前年10月31日）現在における「1. 特例の対象となる選手」の氏名等を別に定める様式により、公益財団法人日本スポーツ協会宛に提出する。
- 2) 公益財団法人日本スポーツ協会は、「国民体育大会参加申込システム」内にて、特例対象選手一覧を公表する。
- 3) 参加都道府県体育(スポーツ)協会は本特例活用者を別に定める様式により、当該大会実施要項で定めた参加申込み締切り期日までに、公益財団法人日本スポーツ協会宛に提出する。

5. その他

本特例に定めのない事項については、必要に応じ国民体育大会委員会において協議するものとする。

附則

本特例は、平成23年12月15日に制定し、第67回本大会より施行する。

本特例は、平成26年5月15日に改定し、第69回本大会より施行する。

本特例は、平成29年6月16日に改定し、第73回より施行する。

本特例は、平成30年4月1日に改定し、同日より施行する。

第74回国民体育大会（茨城県） 実施競技一覧

資料No.16-3

【競技別】

1 正式競技

令和元年6月13日現在

競技名(種目)	種別	会場地	競技会場	備考	
総合開・閉会式	—	ひたちなか市	笠松運動公園陸上競技場		
陸上競技	全種別	ひたちなか市	笠松運動公園陸上競技場		
水泳	競泳	ひたちなか市	山新スイミングアリーナ	※名称変更 施設命名権者のネーミング ライツによる変更のため (県の意向)	
	飛込				
	アーティスティックスイミング				
	水球	少年男子	土浦市	県立土浦第二高等学校プール	
	オープンウォータースイミング	全種別	潮来市	潮来市特設オープンウォータースイミング会場	
サッカー	成年男子 少年男子	鹿嶋市	県立カシマサッカースタジアム		
			ト伝の郷運動公園多目的球技場		
			高松緑地多目的球技場		
			新浜緑地多目的球技場		
			北海浜多目的球技場		
	女子	ひたちなか市	ひたちなか市総合運動公園陸上競技場 ひたちなか市総合運動公園スポーツ広場		
テニス	全種別	神栖市	神栖海浜庭球場		
ボート	全種別	潮来市	潮来ボートコース		
ホッケー	全種別	東海村	県立東海高等学校多目的グラウンド		
			阿漕ヶ浦公園ホッケー場		
ボクシング	全種別	城里町	県立水戸桜ノ牧高等学校常北校体育館		
バレーボール	6人制	ひたちなか市	ひたちなか市総合運動公園総合体育館		
			松戸体育館		
			県立勝田工業高等学校体育館		
	少年女子	結城市	かなくぼ総合体育館		
ビーチバレーボール	全種別	おおら洗町	大洗サンビーチ特設会場		
体操	競技	全種別	日立市	日立市池の川さくらアリーナ	
	新体操	少年女子			
	トランポリン	全種別	稲敷市	江戸崎総合運動公園体育館	
バスケットボール	成年男子 少年男子	日立市	日立市池の川さくらアリーナ		
			久慈サンピア日立スポーツセンター		
	成年女子 少年女子	水戸市	リリーアリーナMITO 総合運動公園体育館	※名称変更 施設命名権者のネーミング ライツによる変更のため (市の意向)	
レスリング	全種別	水戸市	アダストリアみとアリーナ		
セーリング	全種別	阿見町	阿見町霞ヶ浦セーリング特設会場		
ウェイトリフティング	全種別	高萩市	高萩市文化会館		
ハンドボール	成年男子 成年女子	坂東市	坂東市総合体育館		
			県立岩井高等学校体育館		
	少年男子 少年女子	常総市	水海道総合体育館		
			県立水海道第二高等学校体育館		
成年女子	守谷市	常総運動公園体育館			

競技名(種目)		種別	会場地	競技会場	備考	
自転車	トラック	全種別	と ^と り ^り で ^で し ^し 市 ^市	取手競輪場		
	ロード	全種別	つくば市	つくば市特設ロードレースコース		
ソフトテニス		全種別	北 ^北 茨 ^茨 城 ^城 市 ^市	磯原地区公園テニスコート		
卓球		全種別	日立市	日立市池の川さくらアリーナ		
軟式野球		成年男子	水戸市	ノーブルホームスタジアム水戸		
			土浦市	J:COMスタジアム土浦		
			日立市	日立市市民運動公園野球場		
			笠間市	笠間市総合公園市民球場		
			牛久市	牛久運動公園野球場		
			高萩市	高萩市民球場		
相撲		全種別	土浦市	霞ヶ浦文化体育会館		
馬術		全種別	那珂市	県立水戸農業高等学校特設馬術競技場		
フェンシング		全種別	水戸市	アダストリアみとアリーナ		
柔道		全種別	龍ヶ崎市	龍ヶ崎市総合体育館たつこのアリーナ		
ソフトボール		成年男子	常陸太田市	白羽スポーツ広場多目的スポーツ広場		
		成年女子		山吹運動公園野球場		山吹運動公園運動広場
		少年男子	下妻市	砂沼広域公園野球場	柳原球場	
		少年女子		千代川運動公園野球場	市立千代川中学校グラウンド	
バドミントン		全種別	石岡市	石岡運動公園体育館		
弓道		全種別	水戸市	堀原運動公園武道館弓道場		
ライフル射撃	C P	成年男子	茨城県警察学校射撃場	茨城県警察学校射撃場		
	C P 以外	全種別	桜川市	桜川市岩瀬体育館ラスカ		
剣道		全種別	筑西市	下館総合体育館		
ラグビーフットボール		全種別	水戸市	水戸市立サッカー・ラグビー場 ケーズデンキスタジアム水戸		
スポーツクライミング	リード	全種別	鉾田市	鉾田総合公園特設リード競技場		
	ボルダリング	全種別		鉾田総合公園体育館特設ボルダリング競技場		
カヌー	スプリント	全種別	神栖市	神之池特設カヌー競技場		
	スラローム	全種別	大子町	久慈川特設カヌー競技場		
	ワイルドウォーター					
アーチェリー		全種別	つくば市	茎崎運動公園多目的広場		
空手道		全種別	牛久市	牛久運動公園体育館		
クレー射撃		全種別	笠間市	茨城県狩猟者研修センター射撃場		
なぎなた		全種別	常陸大宮市	西部総合公園体育館		
ボウリング		全種別	取手市	フジ取手ボウル		
ゴルフ	フ	成年男子	大洗町	大洗ゴルフ倶楽部		
		女子 少年男子	笠間市	宍戸ヒルズカントリークラブ		
トライアスロン		全種別	潮来市	潮来市特設トライアスロン会場		

37競技

27市5町1村

73会場

2 公開競技

競技名(種目)	種別	会場地	競技会場	備考
綱引	全種別	古河市	古河中央運動公園総合体育館	
武術太極拳	全種別	取手市	取手グリーンスポーツセンター第1体育室	
パワーリフティング	全種別	つくば市	つくばカピオ	
ゲートボール	全種別	行方市	行方市北浦運動場北浦第1グラウンド	
グラウンド・ゴルフ	全種別	神栖市	神栖中央公園	

5競技

5市

5会場

3 特別競技

競技名(種目)	種別	会場地	競技会場	備考
高等学校野球	硬式	水戸市	ノーブルホームスタジアム水戸	
	軟式	土浦市	J:COMスタジアム土浦	

1競技

2市

2会場

4 デモンストレーションスポーツ

競技名(種目)	種別	会場地	競技会場	備考
合気道		笠間市	合気道特設会場	
アームレスリング		つくばみらい市	きらくやまふれあいの丘世代ふれあいの館	
いきいきトランポリン		稲敷市	江戸崎総合運動公園体育館	
Eポート		下妻市	鬼怒川大形橋上流左岸	
ウォーキング		五霞町	歴史探訪コース	
		利根町	とねヘルスロードコース	
エアロビック		取手市	取手グリーンスポーツセンター第1体育室	
オリエンテーリング		石岡市	八郷総合運動公園	
3B体操		那珂市	那珂総合公園アリーナ	
少年少女サッカー		小美玉市	タスバジャパンミートパーク	
少年軟式野球		境町	境町さしま環境センター野球場	
少林寺拳法		古河市	古河中央運動公園総合体育館	
スポーツ鬼ごっこ		つくば市	つくばカピオ	
スポーツウエルネス吹矢		石岡市	石岡運動公園体育館	
ソフトバレーボール		河内町	河内町農業者トレーニングセンター 町立旧河内中学校体育館	
ターゲット・バードゴルフ		つくばみらい市	つくばみらい市総合運動公園多目的広場	
ダンススポーツ		取手市	取手グリーンスポーツセンター第1体育室	
ダンス&パフォーマンス		つくば市	ノバホール	
ディスクゴルフ		美浦村	美浦村光と風の丘公園	
トレイルラン		石岡市	朝日里山学校周辺山岳コース	
ドッジボール		水戸市	アダストリアアミとアリーナ	
ハングライダー・パラグライダー		石岡市	ハングライダー・パラグライダースクールnasa エアパークCOOパラグライダースクール	
バウンドテニス		つくばみらい市	つくばみらい市総合運動公園体育館	
パークゴルフ		結城市	紬の里結城パークゴルフ場	
パンポン		日立市	日立市池の川さくらアリーナ	
ビーチハンドボール		行方市	水郷筑波国定公園天王崎公園砂浜特設コート	
ビーチボールバレー		八千代町	八千代町総合体育館 県立八千代高等学校体育館	
ふれあいグラウンド・ゴルフ		かすみがうら市	あじさい館コミュニティ広場	
ペタンク		かすみがうら市	わかぐり運動公園多目的広場	
ユニカー		城里町	城里町常北公民館体育室	
リレーカーニバル		石岡市	石岡運動公園	
レク・クロッケー		大洗町	大洗町総合運動公園陸上競技場	

31競技

15市7町1村

34会場 ※ウォーキングは、2町で実施

第74回国民体育大会(茨城県) 組合せ抽選会日程

令和元年6月13日

No.	競技名	開催場所	期日	開始時間
1	陸上競技	笠松運動公園陸上競技場会議室 【茨城県ひたちなか市】 (プログラム編成会議)		
2	水泳(水球)	日本スポーツ協会会議室	8/27(火)	10:00
3	水泳(アーティスティック)	笠松運動公園陸上競技場役員室 【茨城県ひたちなか市】	9/11(水)	15:00
4	水泳(オープンウォーター)	潮来市立中央公民館 【茨城県潮来市】	9/10(火)	15:00
5	サッカー	日本サッカー協会事務局 【東京都文京区】	9/5(木)	14:00
6	テニス	日本スポーツ協会会議室	9/6(金)	14:00
7	ボート	日本スポーツ協会会議室	9/6(金)	13:00
8	ホッケー	日本スポーツ協会会議室	9/7(土)	11:00
9	ボクシング	—	抽選会なし	
10	バレーボール	日本バレーボール協会事務局 【東京都渋谷区】	9/7(土)	13:00
11	バレーボール(ビーチバレー)	日本バレーボール協会事務局 【東京都渋谷区】	8/24(土)	13:00
12	体操	日本スポーツ協会会議室	8/24(土)	14:00
13	バスケットボール	日本バスケットボール協会事務局 【東京都文京区】	9/9(月)	13:00
14	レスリング	日本スポーツ協会会議室	8/27(火)	11:00
15	セーリング	—	抽選会なし	
16	ウエイトリフティング	日本スポーツ協会会議室	9/9(月)	13:00
17	ハンドボール	日本ハンドボール協会事務局 【東京都新宿区】	9/8(日)	13:00
18	自転車	つくば市役所 (番組編成会議)	8/24(土)	14:00
19	ソフトテニス	日本ソフトテニス連盟事務局 【東京都品川区】	9/10(火)	13:00
20	卓球	日本スポーツ協会会議室	9/7(土)	14:00
21	軟式野球	全日本軟式野球連盟事務局 【東京都渋谷区】	9/5(木)	14:00
22	相撲	日本相撲連盟事務局 【東京都新宿区】	8/26(月)	14:00
23	馬術	馬事畜産会館 【東京都中央区】	9/6(金)	13:30
24	フェンシング	日本スポーツ協会会議室	9/8(日)	13:30
25	柔道	全日本柔道連盟分室会議室 【東京都文京区】	9/9(月)	16:00
26	ソフトボール	日本スポーツ協会会議室	9/7(土)	13:00
27	バドミントン	日本スポーツ協会会議室	9/6(金)	13:00
28	弓道	日本スポーツ協会会議室	9/9(月)	14:00
29	ライフル射撃	日本スポーツ協会会議室	9/9(月)	15:00
30	剣道	全日本剣道連盟九段事務所 【東京都千代田区】	9/5(木)	15:00
31	ラグビーフットボール	日本ラグビーフットボール協会事務局 【東京都港区】	9/7(土)	13:00
32	スポーツクライミング	日本スポーツ協会会議室	9/8(日)	13:00
33	カヌー	日本スポーツ協会会議室	8/23(金)	14:00
34	アーチェリー	日本スポーツ協会会議室	9/8(日)	11:00
35	空手道	日本空手道会館 【東京都江東区】	9/9(月)	13:30
36	クレー射撃	日本スポーツ協会会議室	9/5(木)	13:00
37	なぎなた	全日本なぎなた連盟事務局 【兵庫県伊丹市】	9/6(金)	13:00
38	ボウリング	日本スポーツ協会会議室	8/26(月)	11:00
39	ゴルフ	日本ゴルフ協会事務局 【東京都中央区】	8/23(金)	13:00
40	トライアスロン		抽選会なし	

公式記念メダル

1. 名称：第74回 国民体育大会記念（茨城県）公式記念メダル
2. 協力：公益財団法人 日本スポーツ協会
3. 製造・発売：松本徽章工業株式会社
4. 規格及び価格（消費税込）：予定
 - A. 純金製＜直径 40 mm＞ …………… 600,000 円
 - B. 純金製＜直径 28 mm＞ …………… 180,000 円
 - C. 純銀製＜直径 55 mm＞ …………… 20,000 円
 - D. 純金、純銀 2 点セット（B+C） …………… 200,000 円

〔いずれも造幣局品位検定極印入り〕

- ◆ 規格及び価格については、発売日近辺の国際金価格

表 表面デザイン



裏 裏面デザイン



※デザインについては、変更の可能性あり。

5. 販売期間：本大会 2 ヶ月前 8 月より、2019 年度末までを予定
6. 販売方法：新聞広告、新聞折込チラシ、EC サイト等による通信販売方式
7. 宣伝広告：新聞広告、新聞折込チラシ、また松本徽章工業株式会社メダルコレクター会員にPRする。
8. 過去の実績：
 - 第 30 回大会（三重県）…公式記念メダル、小判、金杯
 - 第 30 回冬季大会（スケート）…公式記念メダル
 - 第 30 回冬季大会（スキー）…公式記念小判
 - 第 31 回冬季大会…公式記念メダル
 - 第 32 回大会（青森県）…公式記念メダル、金杯・銀杯、小判
 - 第 33 回大会（長野県）…公式記念メダル、楯、小判
 - 第 56 回～第 73 回大会…公式記念メダル

第 74 回国民体育大会（茨城県）における 記念切手（日本郵便ふるさと切手）の発行について

1. 発行概要

- 名 称：ふるさと切手「第 74 回国民体育大会」
- 発行日：令和元年（2019）年 8 月 28 日（水）
- 種 類：82 円郵便切手
- シート構成：参考（第 73 回国民体育大会）



2. 都道府県体育・スポーツ協会、中央競技団体に対するお願い

- 国体記念切手売り上げ増に向けた取り組みへのご協力
加盟団体に対するアナウンス、郵便送付時のご利用 等

第74回国民体育大会(茨城県)の各競技会場におけるイベント事業について

2019/6/13

	競技名	種目名	実施内容	実施日時	実施会場	参加者・対象者
1	テニス		「TENNIS PLAY&STAY」 小学生に対し、プレイ&ステイのボールを利用しテニスに触れ合う。	9月28日(土) 午前1回	神栖海浜庭球場(全種目実施会場)	小学生約40名
2	ホッケー		「試合中におけるルールを中心にした解説」	9月29日(日)～10月3日(木)5日間 1日2試合程度	阿漕ヶ浦公園ホッケー場 茨城県立東海高等学校多目的グラウンド	ホッケー観戦者(500名程度)
3	ボクシング		・AED講習 ・ボクシングエクササイズ体験 ・ミット打ち体験	10月4日(金)17:00～:AED 10月6日(日)15:00～:エクササイズ 10月6日(日)16:00～:ミット打ち	県立水戸桜ノ牧高等学校常北校体育館	地元住民や観客等 AED講習会 20名 ボクシングエクササイズ体験 20名 ミット打ち体験 20名
4	バレーボール	ビーチバレーボール	ビーチバレーボールin大洗において地元高校生から小学生を対象としたバレーボール教室	7月27日(土) 1回	大洗町大洗サンビーチバレーボールコート	大会参加者 (高校生から小学生対象) 60名
5	体操	トランポリン	全日本や世界大会で活躍している実力者による演技披露	9月15日(日)17:10～17:40	日立市池の川さくらアリーナ	トランポリン演技者 2名(世界レベル選手1名+地元優秀選手1名) トランポリンの演技解説等の講師 1名
6	バスケットボール		・地元Bリーグ茨城ロボッツのチアダンスチーム数名と地元高校生のダンスチームとのコラボレーションダンス ・茨城ロボッツの選手によるデモンストレーションプレーの披露	10月7日(月)少年男子・女子準決勝終了・3位表彰式終了後 1回	日立市池の川さくらアリーナ 水戸市青柳公園体育館	茨城ロボッツチーム関係者1会場 10名 地元高校生 2校 40名
7	セーリング		「レース観戦、実況放映及び解説」 会場内にTVモニターを設置し映像と実況解説により、「見えるセーリング競技」として実施。	9月29日(日)～10月2日(水)4日間	阿見町霞ヶ浦セーリング特設会場	一般来場者、視察者及び監督、選手等 (約1000名)
8	ウエイトリフティング		これまでのオリンピック大会や国際大会等の試技を収録したDVD上映	10月2日(水)～6日(日) 実施回数:1日4～5回程度	高萩市文化会館	観戦者及び選手役員 延べ5000名程度
9	ハンドボール		「子どもを対象とした7mスローコンテスト」	10月5日(土)～6日(日)の最終試合の ハーフタイム 3回	1.坂東市総合体育館(6日) 2.常総運動公園総合体育館(6日) 3.県立水海道第二高等学校体育館(5日)	小学生以下対象 1回に20名程度(3回×20名=延べ60名)
10	軟式野球		「キャッチボールクラシック」 キャッチボールの正確さとスピードを競うゲーム	10月6日(日)14:00～	水戸市総合運動公園軟式野球場	茨城県軟式野球連盟 登録の学童チーム 約20チーム 約200名程度

第74回国民体育大会(茨城県)の各競技会場におけるイベント事業について

2019/6/13

	競技名	種目名	実施内容	実施日時	実施会場	参加者・対象者
11	相撲		「相撲体操」の講習会	9月27日(金)	土浦市内小学校	小学校5,6年生 約100名
12	馬術		①エサやり体験コーナーによるふれあいイベント実施 ②馬術競技観戦者に対する観戦ミニガイドの無料配布 ③放送委員による競技の解説・実況	9月29日(日)～10月3日(木)	県立水戸農業高等学校 特設馬術競技場	馬術競技観戦者
13	柔道		①メダリストによる技の披露、トーク、乱取 ②メダリストによる写真撮影、握手会 ③イベントブースでの写真撮影	①メダリストによるトーク、試技、乱取 10月6日(日)11:15(女子総合表彰式前) ②メダリストによる写真撮影・握手会 10月7日(日)午後30分程度1回 ③イベントブースでの写真撮影 10月5日(土)10:00～15:00 10月6日(日)10:00～15:00 10月7日(月)10:00～12:00	龍ヶ崎市たつのこアリーナ	①柔道経験のある小学生20名程度 ②一般観客先着150名程度 ③一般観客(時間内制限無し)
14	ソフトボール		1. 講師挨拶 2. ウォーミングアップ 3. キャッチボール、ゴロとり 4. ノック 5. ピッチング指導	9月29日(日) 第3試合終了後の1回	下妻市千代川運動公園野球場	小学生少年団・中学生チーム 80名
15	弓道		「弓道体験コーナー」	10月4日(金) 9:30～16:30 10月5日(土) 9:30～16:30 10月6日(日) 9:30～15:00 10月7日(月) 9:30～12:00	水戸市 弓道競技場付近(堀原運動公園内敷地)	試合観戦者 (500名程度)
16	ライフル射撃		①ビームライフル体験射撃 ②ビームピストル体験射撃	①10月5日(土) 15:30～16:30 1回 ②10月4日(金)～6日(日) 10:00～16:00 3回	①桜川市岩瀬体育館ラスカ ②茨城県警察学校仮設会場内	①小中学生、一般(高校生以上)対象(50名程度) ②小中学生及び一般(高校生以上)対象。(100名程度×3日)
17	ラグビーフットボール		①水戸市及び近郊の特別支援学校の生徒と交流のある中学生とタグラグビー ②エスコートキッズ	①10月1日(火) ②10月3日(木)	①ケーズデンキスタジアム水戸 ②水戸市立サッカー・ラグビー場	①特別支援学校3校及び交流のある中学校3校 60名程度 ②水戸市内の幼稚園児 約46名
18	カヌー	スプリント	カヌー体験教室 ①初心者向け乗艇体験 ②経験者向け模擬レース	10月6日(日)200m準決勝レース終了後に開催 1時間半程度	神栖市神ノ池特設カヌー競技場	来場者 対象年齢は小学生以上
19	アーチェリー		「アーチェリー体験コーナー」	10月5日(土)～6日(日)	つくば市荃崎運動公園	小学生～一般 100名程度

第74回国民体育大会(茨城県)の各競技会場におけるイベント事業について

2019/6/13

	競技名	種目名	実施内容	実施日時	実施会場	参加者・対象者
20	空手道		①水戸葵陵高等学校書道部による書道パフォーマンス ②東洋大学附属牛久高等学校ダンス部によるダンス演技	①9月28日12:20～12:40 1回 ②9月29日12:10～12:30 1回	牛久運動公園体育館	①12名 ②80名
21	クレー射撃		「レーザークレー射撃体験」	10月8日(火) 13:00～16:00頃	笠間市総合公園内駐車場	国体会場を訪れた一般観客や、応援に訪れた選手・役員のご家族 200名程度
22	なぎなた		①変身コーナー ②参加選手への応援メッセージ ③リーフレット配布 ④なぎなたの体験 ⑤プレゼント配布 ※①・②の参加者に	9月29日(日)	茨城県西部総合体育館	会場に応援・見学に来ている人を対象
23	ボウリング		「ふれあいボウリング」 全日本ナショナルチームメンバー及び地元茨城県代表選手による、選手紹介や模範投球。 参加者への実技指導、ゲーム。	10月1日(火) 19:00～20:45 1回	フジ取手ボウル	取手市内に在住・在勤・在学者及び県内障がい者とその家族 約40～70名程度
24	ゴルフ		体験教室	8月上旬※未定	大洗ゴルフ倶楽部	大洗町及び周辺市町在住の小学生から高校生(未経験者・初心者) 定員30名

第 74 回国民体育大会（茨城県） アンチ・ドーピング活動実施計画

1. 大会名・会期

第 74 回国民体育大会（茨城県）：令和元年 9 月 28 日（土） ～ 10 月 8 日（火）【11 日間】

※ 会期前：令和元年 9 月 7 日（土） ～ 9 月 16 日（月）

2. ドーピング検査

(1) 検査方針

国民体育大会ドーピング検査は、日本アンチ・ドーピング機構（JADA）が定める「アンチ・ドーピング規程」及び日本スポーツ協会が定める「国民体育大会アンチ・ドーピング活動に関するガイドライン」に則り、競技会検査を実施する。検査は JADA が実施する。

- ・ 競技会検査とは、当該競技会に関連して競技者が検査対象として抽出される検査をいう。
- ・ 競技会検査は少年種別を含む全競技者を対象とする。
- ・ 実施予定の競技種目は、予め公開しないこととする。

(2) 予定検体数

競技会検査：170 検体（25 競技程度を予定）

※参考

大会	競技会検査	競技会外検査	総計
第 63 回大会（大分県）	128 検体(16 競技)	76 検体	204 検体
第 64 回大会（新潟県）	159 検体(16 競技)	50 検体	209 検体
第 65 回大会（千葉県）	138 検体(17 競技)	68 検体	206 検体
第 66 回大会（山口県）	142 検体(15 競技)	22 検体	164 検体
第 67 回大会（岐阜県）	173 検体(21 競技)	50 検体	223 検体
第 68 回大会（東京都）	214 検体(24 競技)	0 検体	214 検体
第 69 回大会（長崎県）	197 検体(23 競技)	0 検体	197 検体
第 70 回大会（和歌山県）	216 検体(28 競技)	0 検体	216 検体
第 71 回大会（岩手県）	219 検体(24 競技)	0 検体	219 検体
第 72 回大会（愛媛県）	170 検体(27 競技)	0 検体	170 検体
第 73 回大会（福井県）	170 検体(25 競技)	0 検体	170 検体

3. アウトリーチプログラム

総合開会式会場にブースを設置し、教育・啓発活動（アウトリーチプログラム）を実施する。

- ・実施計画：総合開会式
- ・会場：茨城県ひたちなか市（笠松運動公園陸上競技場）
- ・実施期間：令和元年 9 月 28 日（土）

2019年度 JSPO スポーツ・アクティブ・パートナー・プログラムについて

(2019年6月13日現在)

《基本プログラム「フェアプレイで日本を元気にキャンペーン」等》

＜オフィシャルパートナー＞ 協賛金額：年間1,500万円（税別）

(企業名)	(カテゴリー)
・アシックスジャパン株式会社	スポーツ用品並びにスポーツ用具
・大塚製薬株式会社	清涼飲料水
・ミズノ株式会社	スポーツ用品並びにスポーツ用具
・三井住友海上火災保険株式会社	損害保険
・株式会社ローソン	コンビニエンスストア
・株式会社ロッテ	菓子
・株式会社セレスポ	イベント設営業務
・ニチバン株式会社	医療用テープ
・日本文化出版株式会社	出版
・図書印刷株式会社	印刷
・株式会社時事通信社	報道・マスメディア

《第74回国民体育大会（茨城県）国体パートナー》 ※契約順

(企業名)	(カテゴリー)
・株式会社常陽銀行	金融
・日本リアライズ株式会社	不動産
・株式会社山新	ホームセンター及び家具
・水戸証券株式会社	金融商品取引
・株式会社筑波銀行	金融
・株式会社廣澤精機製作所	製造
・株式会社ジョイフル本田	小売
・三井住友海上火災保険株式会社	損害保険
・株式会社ローソン	コンビニエンスストア
・アシックスジャパン株式会社	スポーツ用品並びにスポーツ用具
・ミズノ株式会社	スポーツ用品並びにスポーツ用具
・株式会社セレスポ	イベント設営業務
・日本製鉄株式会社	製鉄
・株式会社松屋フーズ	飲食店
・NOK株式会社	工業用製品製造・販売
・大塚製薬株式会社	清涼飲料水
・株式会社時事通信社	報道・マスメディア

※ 参考：＜第75回国民体育大会冬季大会（2019年度大会）国体パートナー＞

(企業名)	(カテゴリー)
・アシックスジャパン株式会社	スポーツ用品並びにスポーツ用具
・大塚製薬株式会社	清涼飲料水
・ミズノ株式会社	スポーツ用品並びにスポーツ用具
・三井住友海上火災保険株式会社	損害保険
・株式会社ローソン	コンビニエンスストア
・株式会社セレスポ	イベント設営業務
・株式会社時事通信社	報道・マスメディア

第76回国民体育大会冬季大会スケート競技会（スピード）
マスコットについて

清流の国ぎふマスコットキャラクター「ミナモ」



©岐阜県

<選定理由>

- ① 「ミナモ」は2012年開催のぎふ清流国体・ぎふ清流大会のマスコットキャラクターとして登場し、国体マスコットキャラクターとして広く周知されています。
- ② ぎふ清流国体・ぎふ清流大会以降、「第70回全国レクリエーション大会 in 岐阜」や「日本スポーツマスターズ2019^{ニイマルイキョウ}ぎふ清流大会」など多くの大会でのマスコットキャラクターとして活躍しています。

国体(国スポ)における JSPO-AT 帯同義務化に向けた目標スケジュール

【JSPO-AT 帯同義務化に向けた段階別諸条件】

<第1段階：原則付き義務付け>

- 全国の JSPO-AT 登録者数（当該年 10 月 1 日現在）が 4,000 名を超え、かつ各都道府県における登録者数が 10 名以上となった場合、帯同義務化に向けた原則付きと開催基準要項を改定する。

<第2段階：完全義務化>

以下の状態が確認された場合、開催基準要項を改定し JSPO-AT の帯同を義務付けることとする。

- 全国の JSPO-AT 登録者数（当該年 10 月 1 日現在）が 5,000 名を超える。
- 2020年から2022年の3年間（以下、「特例処置期間」）の内に、2大会連続で33都道府県（約70%）以上が JSPO-AT を本部役員として帯同する。
- 特例措置期間内に全都道府県が、JSPO-AT を本部役員として1回以上帯同した実績がある。

【義務化に向けた最短スケジュール(案)】

回数 (年)	開催県	JSPO-AT 目標登録者数	各県登録者 10名以上	帯同 都道府県数	都道府県 派遣実績	内容	備考
第72回 (2017年)	愛媛県	3,453名	×	×	×	実態調査 (都道府県体協・NF調査/現地調査)	登録者数：2017.10.1現在
第73回 (2018年)	福井県	3,825名	○	×	×		登録者数：2018.10.1現在 (前年比+372名)
第74回 (2019年)	茨城県	4,100名	○	×	×	●第74回本大会終了後、開催基準要項改定 (2019年12月又は2020年3月の国体委員 会において審議)	
第75回 (2020年)	鹿児島県	4,400名	○	×	47 都道府県	3年間の特例措置期間【第1段階】	
第76回 (2021年)	三重県	4,700名	○	33以上			
第77回 (2022年)	栃木県	5,000名	○	33以上			●第77回大会終了後、 開催基準要項改定(2023年3月～)
第78回 (2023年)	佐賀県	5,300名	○	—		AT帯同義務化完全実施【第2段階】	「国民スポーツ大会」 スタート

国民体育大会開催基準要項(一部抜粋)

3 1 参加選手団本部役員編成

(1) 参加選手団本部役員の編成は、次の基準による。

1) 本大会

- ① 参加選手 500 名以上の場合は、団長、総監督及び総務ほか、計 20 名以内とする。
- ② 参加選手 300 名以上 500 名未満の場合は、団長、総監督及び総務ほか、計 15 名以内とする。
- ③ 参加選手 300 名未満の場合は、団長、総監督及び総務ほか、計 10 名以内とする。

2) 冬季大会

団長、総監督及び総務ほか、計 5 名以内とする。

3) 上記本部役員のほか、各大会とも 5 名以内の顧問を設けることができる。

(2) 各大会とも、上記本部役員の中で、スポーツドクターを帯同するものとする。なお、帯同するスポーツドクターは日本スポーツ協会公認スポーツドクター資格を有する者とする。

(3) 各大会とも、上記本部役員の中で、アスレティックトレーナーを帯同できる。なお、帯同できるアスレティックトレーナーは日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー資格を有する者とする。

(4) 1 日あたりの参加選手団本部役員の人数については、上記の編成人数を上限とする。

(5) 参加選手団本部役員の参加申込みは、監督及び選手の申込みと同時に、本要項第 27 項に定める方法により行う。

国民体育大会における アスレティックトレーナーのあり方について

日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー（以下、「JSP0-AT」という。）は、スポーツ現場においてスポーツドクター及びコーチとの緊密な協力のもとに、スポーツ選手の健康管理、外傷・障害予防、スポーツ外傷・障害の救急処置、アスレティックリハビリテーション及び体力トレーニング、コンディショニングなどを担当する健康管理の専門家である。

選手の健康管理、安全管理への関心が高まっている昨今、その果たす役割・意義は大きくなっており、国民体育大会（以下、「国体」という。）においても、既に多数の JSP0-AT が様々な立場で活動を行っている。しかし、そのあり方が明確に位置づけられていないため、選手等のサポート活動が十分に行われず、JSP0-AT を取り巻く体制の整備が急がれている。以下に、国体におけるアスレティックトレーナー（以下、「AT」という。）の役割、更には具体的な業務モデルを示す。

I. 国体における AT の役割を果たす場面

<本部役員の AT>

1. 都道府県選手団本部役員として帯同する AT（帯同 AT）

※「開催基準要項 第 31 項 参加選手団本部役員編成」で定める本部役員としての AT

<補足① 参加選手・チームの AT>

2. 参加選手・チームに帯同する AT（競技団体支援 AT）

※「開催基準要項 第 31 項 参加選手団本部役員編成」で定める参加選手団以外の AT

<補足② 開催地（運営者）側の AT>

3-1. 競技会場における救護所・救護班の構成員としての AT

※各大会で定める「医療救護要項」で定める AT（構成員に AT が入らない大会もある）

3-2. 開催地準備委員会・実行委員会における AT

II. 国体における AT の業務モデル～役割～

1. 都道府県選手団本部役員として帯同する AT（帯同 AT）

(1) 国体開催前

①日頃からの競技団体強化合宿でのコンディショニングサポート

②各競技団体の強化等の支援を行う競技団体支援 AT との連携

- ・ 情報、マンパワー、環境（トレーニング施設、医療機関、研究機関など）等の支援を行う。

③帯同ドクターとの連携

- ・ 帯同ドクターの実施するメディカルチェックの際の人的支援（検査補助、入力補助）を行う。
- ・ 開催地の医療・救護関係情報の収集を行う。

- ④選手団からの関連情報の各競技団体、関連スタッフへの伝達
- ⑤各競技団体関連スタッフの情報収集及び把握（メンバー、スケジュールなど）
- ⑥選手団持参用品類の確認、手配、準備

(2) 国体開催期間中

- ①選手団におけるATとしてのコンディショニングサポート活動
 - ・ 競技会場・宿舎において競技団体支援ATを準備できない競技団体、人手が足りない競技団体など依頼のあった現場に対する支援活動を行う。
- ②ドクターズ・ミーティングへの参加
 - ・ 国体総合開会式前日に開催されるドクターズ・ミーティングに参加し、国体における関連分野の情報を収集する。
- ③各競技団体支援ATとの情報整理・交換・支援、環境支援
- ④ドーピング検査への対応
 - ・ 帯同ドクターが対応不可能な場合、その代行者として検査に立ち会う。当然ドーピング検査に関する教育を受けているものが望ましい（JSPO-ATは養成カリキュラムに含まれている）。
- ⑤各現場でのAT活動の正常化、視察
- ⑥その他
 - ・ 帯同ドクターと連携し、1)食事 2)環境 3)感染症等に対する環境面の適切な指導、対応を行う。
 - ・ 日報集計を行う。

(3) 国体開催後

- ①活動状況に関する報告書作成
 - ・ 各競技団体における関連活動、環境について報告する。
- ②各競技団体支援ATとの情報交換
- ③選手団持参用品類の整理、在庫確認

2. 参加選手・チームに帯同するAT（競技団体支援AT）

(1) 国体開催前

- ①日頃からの競技団体強化合宿・競技会におけるコンディショニングサポート
- ②選手団本部役員帯同ドクター・ATとの連携（報告、連絡、相談）
 - ・ 緊急時の連絡方法ルールの確認、作成を行う。
 - ・ 開催地の医療・救護関係情報の収集を行う。
- ③帯同ドクターの実施するメディカルチェックの補助
- ④選手団からの関連情報の収集及び把握

(2) 国体開催期間中

①選手団におけるATとしてのコンディショニングサポート活動

- ・ 競技会場・練習会場・ウォーミングアップエリア・宿舎における選手のサポートを行う。

②ドクターズ・ミーティングへの参加

- ・ 国体総合開会式前日に開催されるドクターズ・ミーティングに参加し、国体における関連分野の情報を収集する。

③選手団本部役員帯同ドクター・ATとの連携および情報交換

④競技会場、練習会場、宿舎における緊急時の対応（医療機関、救護施設、場所、連絡方法）と確認

⑤ドーピング検査への対応

- ・ 帯同ドクターが対応不可能な場合、その代行者として検査に立ち会う。当然ドーピング検査に関する教育を受けているものが望ましい（JSP0-ATは養成カリキュラムに含まれている）。

(3) 国体開催後

①活動状況に関する報告書作成

②選手団本部役員帯同ドクター・ATとの情報交換

③選手団持参用品類の整理、在庫確認

④日頃よりの競技団体強化合宿・競技会におけるコンディショニングサポート

3-1. 競技会場における救護所・救護班の構成員としてのAT

スポーツ外傷の救急処置や傷病者搬送など、ドクター等医療関係者の補助業務を行う。

(1) 国体開催前

- ・ 救護所運営打合せ、準備業務補助を行う。

(2) 国体開催期間中

- ・ 救護所構成員として、一次救命処置（心肺蘇生法、AEDの扱い）、スポーツ外傷の救急処置（RICE処置や固定法等）、傷病者搬送業務を行う。
- ・ 救護所運営関係者との連絡、報告業務を行う。

(3) 国体開催後

- ・ 活動状況に関する報告書を作成する。
- ・ 救護所備品・消耗品類の整理、在庫確認を行う。

3-2. 開催地準備委員会・実行委員会における AT

開催地 AT として AT 環境整備、支援活動を専門家の視点から支援活動を行う。

(1) 国体開催前

①準備委員会・実行委員会として AT 関連事項に関する業務確認、打合せ、準備活動を行う。

②AT 活動環境の整備

- ・ 会場内に公共コンディショニングスペースの設置準備（個人競技）
（各会場、市町村、競技団体との設置確認、AT 人員確保(管理者含む)、備品消耗品準備、場所確認(屋外の場合テント確保)
- ・ 帯同 AT に対するウォーミングアップエリア、試合会場、ウォーミングアップエリアへの通行証発行または活動方法確認

③競技会場、練習会場、宿舎における緊急時の対応（医療機関、救護施設、場所、連絡方法）

- ・ 資料作成

(2) 国体開催期間中

- ・ 公共コンディショニングスペースの管理、運営。
- ・ 実行委員会関係者との連絡、報告業務を行う。

(3) 国体開催後

- ・ 活動状況に関する報告書作成
- ・ 公共コンディショニングスペース備品・消耗品類の整理

ジャパン・ライジング・スター・プロジェクト ～世界で輝け未来のトップアスリート～

2019 年度実施要項

1. 趣旨・目的：

本事業は、2020 東京オリンピック・パラリンピック競技大会終了後も、将来性の豊かな地域のスポーツタレント又はアスリートからメダル獲得の潜在能力を有するメダルポテンシャルアスリートまでの持続可能で強固なアスリートを育成する道筋(パスウェイ)「アスリート育成パスウェイ」を構築・充実させることを目的に実施する。

2. 主催：公益財団法人日本スポーツ協会

3. 協力：公益財団法人日本オリンピック委員会、公益財団法人日本障がい者スポーツ協会日本パラリンピック委員会

4. 後援：スポーツ庁、公益財団法人日本中学校体育連盟、公益財団法人全国高等学校体育連盟、公益財団法人日本高等学校野球連盟

5. 実施期間：2019 年 4 月 1 日～2020 年 3 月 31 日

6. 内容：

・種目最適型タレント発掘（オリンピック競技）

本事業は、発掘、検証の 2 つの要素から構成され、日本オリンピック委員会(JOC)と協力し、都道府県体育・スポーツ協会に一部委託の上、競技拠点県と対象競技を設定して行う。

本年度は、昨年度発掘した有望者(2 期生)を対象に検証フェーズを本年 10 月まで継続し、検証フェーズで選考された有望者を中央競技団体が実施する育成プログラム等へ引き継ぐ。また、3 期生として、全国の中学・高校生年代(2019 年 4 月 1 日現在 12 歳から 17 歳)の男女のうち、既に高い身体能力や競技経験(成績)を有する者を対象に、測定会等の発掘フェーズと、その後の有望者による合宿等の検証フェーズを実施する。

・障がい者アスリート発掘（パラリンピック競技）

本事業は、発掘、検証の 2 つの要素から構成され、日本障がい者スポーツ協会日本パラリンピック委員会(JPC)と協力し、都道府県体育・スポーツ協会に一部委託の上、競技拠点県と対象競技を設定して行う。

本年度は、昨年度発掘した有望者(2 期生)を対象に検証フェーズを本年 10 月まで継続し、検証フェーズで選考された有望者を中央競技団体が実施する育成プログラム等へ引き継ぐ。また、3 期生として、全国の障がい者(2019 年 4 月 1 日現在 12 歳以上)の男女を対象に、測定会等の発掘フェーズと、その後の有望者による合宿等の検証フェーズを実施する。

7. 対象競技及び競技拠点県(2 期生委託先)、中央競技団体(3 期生委託先)：

2018 年度に発掘した 2 期生における対象競技及び競技拠点県(委託先)については、検証期間を本年 10 月までとしていることから、2018 年度に設定した以下を継続する。なお、3 期生における対象競技及び中央競技団体(委託先)については、以下のとおり設定する。

【2 期生】対象競技・競技拠点県体育・スポーツ協会

●オリンピック競技(6)

水泳(飛込)	新潟県	ボート	埼玉県
ウエイトリフティング	山梨県	ハンドボール(女子)	熊本県
ソフトボール(女子)	高知県	7 人制ラグビー(女子)	北海道

●パラリンピック競技(4)

ボッチャ	大阪府	パワーリフティング	京都府
水泳(身体障がい)	奈良県	車いすフェンシング	

【3期生】対象競技・中央競技団体

●オリンピック競技（5）

水泳（飛込）	日本水泳連盟
ボート	日本ボート協会
ウエイトリフティング	日本ウエイトリフティング協会
ハンドボール（女子）	日本ハンドボール協会
7人制ラグビー	日本ラグビーフットボール協会

●パラリンピック競技（6）

陸上（身体障がい）	日本パラ陸上競技連盟
ボッチャ	日本ボッチャ協会
パワーリフティング	日本パラ・パワーリフティング連盟
水泳（身体障がい）	日本身体障がい者水泳連盟
車いすフェンシング	日本車いすフェンシング協会
アイスホッケー	日本パラアイスホッケー協会

8. 実施方法

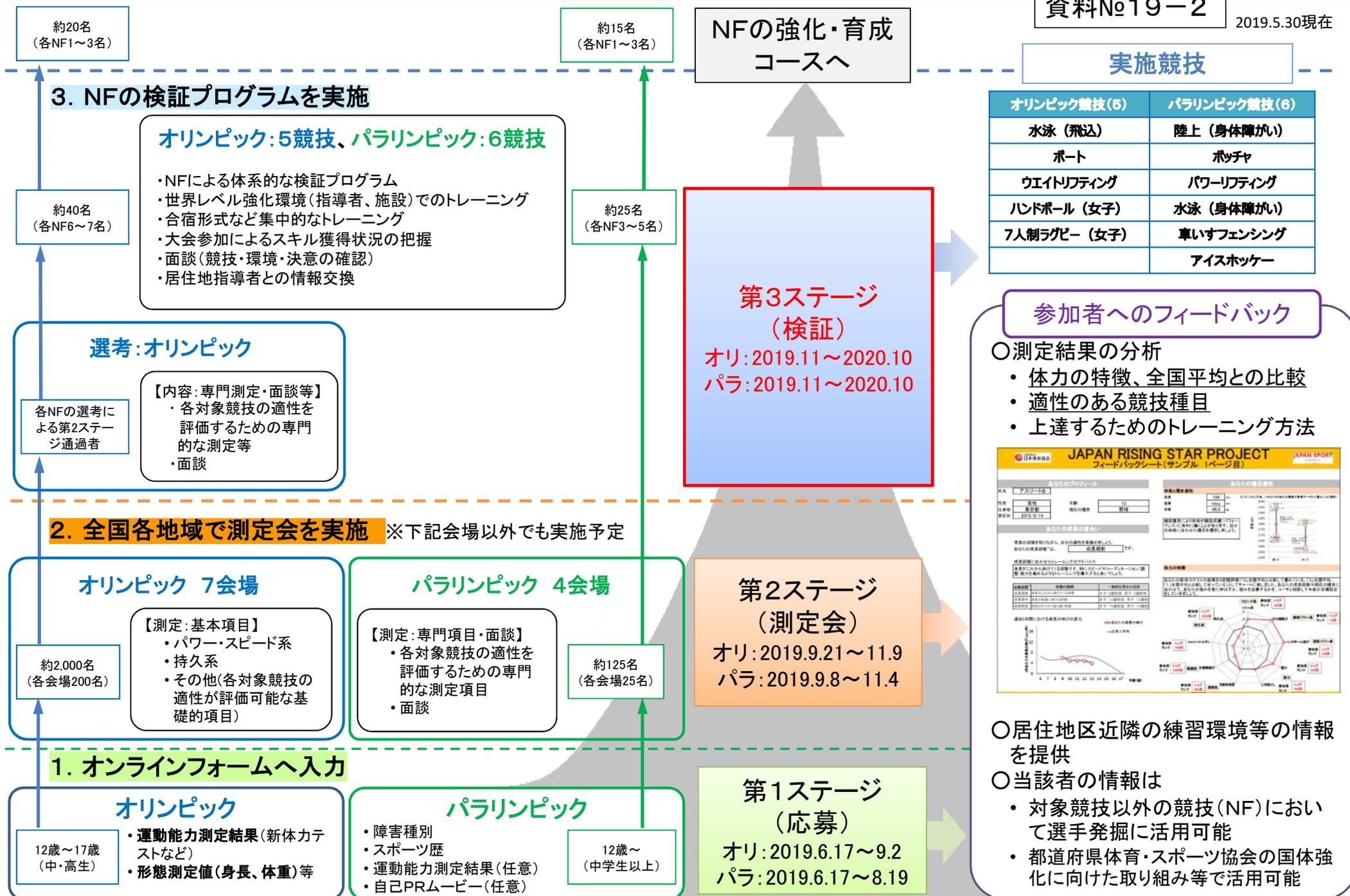
公益財団法人日本スポーツ協会が、2期生については上記記載の道府県体育・スポーツ協会に、3期生については対象競技の中央競技団体等と協力して実施し、事業の一部を再委託する。委託に関する詳細は、「再委託要項」に定める。

また、測定会実施に際して可能な場合は、メニューの一部を都道府県体育・スポーツ協会に再委託をし、委託に関する詳細は「測定会再委託要項」に定める。

J-STARプロジェクト：3期生（2019-2020年度）の実施スキーム

資料№19-2

2019.5.30現在



※年齢は2019年4月1日現在

※イメージ上の各人数はあくまでも目安であり、増減する可能性があります。

※NF:中央競技団体

令和元年（2019年）度 国民体育大会委員会・国体検討小委員会等開催日程

2019. 6. 13 現在

月 日	時 間	会 場	会 議 名	出席者					備 考
				国体委員			競技運営部 会 員	都道府県 体協	
				正副 委員 長	検 討 小 委 員	国 体 委 員			
令和元年（2019年） 5月10日（金）	14時	理事・監事室	第1回国体検討小委員会	○	○				4/17(水) 加盟団体事務局長会議 4/24(水) 第1回理事会
6月7日（金）	14時	新会館	第1回国体競技運営部会	○			○		6/5(水) 第2回理事会
6月13日（木）	11時 14時	新会館	第2回国体検討小委員会 第1回国民体育大会委員会	○ ○	○ ○	○			6/21(金) 定時評議員会
7月18日（木）	14時	新会館	第3回国体検討小委員会	○	○				7/17(水) 第3回理事会 7/27(土) IH 総合開会式<鹿児島>
8月29日（木）	11時 14時	新会館	第4回国体検討小委員会 第2回国民体育大会委員会	○ ○	○ ○	○			【国体・本大会】 茨城 会期前 9/7(土)～16(月) 本会期 9/28(土)～10/8(火)
11月8日（金）	14時	新会館	第5回国体検討小委員会	○	○				11/7(木) 第4回理事会
12月12日（木）	11時 14時	新会館	第6回国体検討小委員会 第3回国民体育大会委員会	○ ○	○ ○	○			
令和2年（2020年） 1月16日（木）	14時	新会館	第7回国体検討小委員会	○	○				1/15(水) 第5回理事会 【国体・冬季大会】 スケート・アイスホッケー（青森県）1/29(水)～2/2(日) スキー（富山県） 2/16(日)～19(水)
3月5日（木）	11時 14時	新会館	第8回国体検討小委員会 第4回国民体育大会委員会	○ ○	○ ○	○			3/6(金) 第6回理事会 3/18(水) 臨時評議員会 (秩父宮記念スポーツ医・科学賞表彰式)
3月18日（水）	10時	グランドプリンス ホテル高輪	都道府県体育協会国体連絡会議	○				○	

・国体委員懇談会等については必要に応じて開催。

公益財団法人日本スポーツ協会 組織図

平成31(2019)年4月1日～

